

情報分野が好調

昭和興産
12月期決算

昭和興産の2010年12月期決算は、売上高が643億9300万円と前期に比べ18・7%増加した。合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材の各事業分野で販売量が軒並み伸長し、商材の価格も総じて上げ基調で推移した。営業利益は94・2%増の7億9900万円。法人税の大幅増により純利益は29・0%減の2億8400万円だった。前期比36・4%増の38億5200万円と顕著な伸びを示したのが情報電材分野。とりわけ液晶テレビや携帯電話用の関連部材などが好調で、ピークだった08年の水準も上回った。

構成比で最大の合成樹脂分野の売上高は19・3%増の312億5900万円、化学品は13・3%増の189億2900万円、産業資材は23・7%増の101億3200万円だった。